

1. 活動報告

1) 外部資金獲得状況 (15年3月)

源川拓磨 (分担者)

<農林水産省 平成26年度「農林水産業の革新的技術緊急展開事業」
(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立) >
「機能性ニンジン「こいくれない」の機能性成分量の迅速評価法
及び価値保持技術の開発による横断的産地形成」(H27.3-H28.3)

水田大輝 (代表者)

<(公財)日本科学協会 平成27年度笹川科学研究助成 学術研究門>
「常緑性ツツジにおいて花色多様化のカギとなる遺伝子の解析
から300年間謎である品種の起源を紐解く」(H27.4-H28.2)

石賀康博 (代表者)

<(公財)不二たん白質研究振興財団 平成27年度 一般研究助成>
「イソフラボンを用いた大豆さび病菌防御応答に関する基盤研
究」(H27.4-H28.3)

山下祐司 (代表者)

<科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究>
「なぜ腐植物質は水処理プロセスの効率を低下させるのか？」
(H27.4-H29.3)

2) セミナー (15年3月)

▽若手セミナー

第35回

演者: 作本亮介 氏

(独)農業生物資源研究所・主任研究員)

演題: 『動物種によって異なる生殖戦略 ~家畜を効率よく繁
殖させるために何が必要か~』

日時: 2015年3月20日(金) 16:00~17:00

会場: 筑波大学生物農林学系棟 F506

世話人: 浅野敦之

3) 若手研究者運営調整部会

・第18回

日時: 2015年3月24日(火) 10:00~10:30

場所: 総合研究棟 D 117室

議題:

1) 平成27年度前期役員の選出

2) 平成27年度予算縮減について

4) 業績 (15年3月・2月)

<原著論文>

Kei IKEHATA., Ryohei Suzuki, Kazuhiko Shimada, Jun-ichiro Ishibashi,
Tetsuro Urabe

“Mineralogical and Geochemical Characteristics of Hydrothermal Minerals
Collected from Hydrothermal Vent Fields in the Southern Mariana
Spreading Center”

Subseafloor Biosphere Linked to Hydrothermal Systems TAIGA Concept
275-287 (2015)

Junichiro Ishibashi, K. Shimada, F. Sato, A. Uchida, S. Toyoda, A. Takamasa,
S. Nakai, H. Hyodo, K. Sato, H. Kumagai, Kei Ikehata

“Dating of Hydrothermal Mineralization in Active Hydrothermal Fields in
the Southern Mariana Trough”

Subseafloor Biosphere Linked to Hydrothermal Systems TAIGA Concept
289-300 (2015)

Mori K, Murano K, Ohniwa RL, Kawaguchi A, Nagata K.

“Oseltamivir expands quasispecies of influenza virus through cell-to-cell
transmission.”

Sci. Rep. 5: 9163 (2015)

山本倫成、片桐孝志、秋葉よしえ、岡田一男、米川和範、松本安広、
田島淳史、石川尚人、浅野敦之

『農林技術センター畜産部門における放射性物質のモニタリング』
筑波大学農林技術研究 Accepted (15/2/27)

Kon K.*, Tongnunui P. and Kurokura H.

“Do allochthonous inputs represent an important food resource for benthic
macrofaunal communities in estuarine mudflats?”

Food Webs 2: 10-17 (2015)

Wang, Z., Neves, M. A., Yin, L.-J., Kobayashi, I., Uemura, K., Nakajima, M.

“Direct observation and evaluation of cooked white and brown rice digestion
by gastric digestion simulator provided with peristaltic function.”

Food Research International 71:16-22 (May, 2015)

<総説等>

池端慶

『硫黄島地熱発電所跡で2014年12月16日に放出された噴出物の構
成物について』 *第131回火山噴火予知連絡会資料* 7: 148-150
(2015)

伊敷吾郎

【計算機資源を獲得】 HPCI 一般公募で採択され、「京」を含む計算機資源を獲得 (課題番号 hp150082, 副代表) 2015 年 2 月 20 日

源川拓磨

【著書】『5.4 プロセス分析』, 第 5 章 近赤外分光法の応用, 近赤外分光法, 尾崎幸洋 (編著), 講談社, 167-178, 2015

水田大輝

【講師】 筑波大学 総合研究棟 A 棟で筑波大学東日本大震災復興・再生支援プロジェクト・農林技術センターシンポジウム「広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリングと芝生等被覆作物による土壌中の放射性物質の物理的・生物学的除染と軽量化〜園芸部門における土壌、作物の放射性物質のモニタリングと現状〜」のタイトルで講演。 2015 年 3 月 17 日

水田大輝、米川和範・松本安広・末木啓介・坂本健一・小野木亮・比企 弘・大宮秀昭・酒井一雄・松岡瑞樹・伊藤 睦・瀬古澤由彦・福田直也

『農林技術センター園芸圃場および園芸作物における放射性物質のモニタリング』 *筑波大学農林技術研究* accepted (15/02/23)

福田直也、瀬古澤由彦・水田大輝・弦間 洋・田島淳史・瀧川具弘・林 久喜・野口良造・清野達之・加藤盛夫・石川尚人・浅野敦之・秋葉よしえ・伊藤 睦・伊藤百世・大宮秀昭・岡田一男・片桐孝志・軽部 潔・酒井一雄・齋藤 明・佐藤美穂・菅原慶子・比企 弘・松岡瑞樹・山本倫成・横山和人・吉田勝弘・本間 毅・松本安弘・米川和範・川崎敏安・矢口由典・関口正実・森 妙子・藤谷りつ子・塚原真知子

『広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリングと芝生等被覆作物による土壌中の放射性物質の物理的・生物学的除染と軽量化〜農林技術センター内の空間線量率の推移について〜』

筑波大学農林技術研究 Accepted in Feb. 2015

<学会発表・招待講演>

Chai Jongmin, 山下祐司, 足立泰久

第 49 回日本水環境学会年会

演題: 『アニオン性およびカチオン性高分子の添加順序によるコロイド表面の電荷状態と吸着層の違い』 (ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 16 日

場所: 金沢大学 (石川)

石川香

関東プロティスト倶楽部 ー微生物進化 2015ー

演題: 『ミトコンドリア・ワールド〜Parasite EVE の真実〜』

<招待講演 (口頭発表)>

日時: 2015 年 2 月 27 日

場所: 筑波大学計算科学センター

Keisuke Sakurai

大阪大学国際シンポジウム

演題: 『Key elements controlling the duplex vision on vertebrate evolution.』 <招待講演>

日時: 2015 年 3 月 20 日

場所: 大阪大学豊中キャンパス

西村健、加藤哲男、C. Chen、L. Oinam、塩満鋭美、大高真奈美、福田綾、中西真人、久武幸司
第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『Paused iPSC を用いた iPSC 細胞誘導過程の解析』
(口頭発表)

日時: 2015 年 3 月 21 日

場所: 横浜

高山和雄、森崎悠太、大高真奈美、西村健、中西真人、立花雅史、櫻井文教、川端健二、水口裕之

第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『ヒト iPSC 細胞由来肝細胞を用いた薬物応答能の個人差の予想-CYP2D6 遺伝子の SNP の相違による個人差の再現』
(ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 21 日

場所: 横浜

加藤哲男、西村健、L. Thuy、大高真奈美、福田綾、中西真人、久武幸司

第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『iPS 細胞誘導初期に関与する転写因子の同定とその機能解析』 (ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 19 日

場所: 横浜

塩満鋭美、西村健、L. Oinam、F. Liliani、福田綾、久武幸司

第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『細胞の初期化におけるリプログラム因子の機能解析』
(ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 19 日

場所: 横浜

大高真奈美、久保陽子、西村健、佐野将之、中西真人

第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『Feeder-free 及び xeno-free 条件かでのヒト末梢血由来単球からの iPSC 細胞誘導』 (ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 19 日

場所: 横浜

小野寺晶子、長谷川大悟、齋藤曉子、大高真奈美、渡邊章、西村健、柴原孝彦、片倉朗、中西真人、東俊文

第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『基底細胞母斑症候群 (Gorlin 症候群) 患者由来細胞を用いた疾患特異的ヒト人工多能性幹細胞 (iPS 細胞) の樹立』
(ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 19 日

場所: 横浜

齋藤曉子、小野寺晶子、大木章生、長谷川大悟、大高真奈美、中西真人、西村健、渡邊章、柴原孝彦、末石研二、東俊文

第 14 回日本再生医療学会総会

演題: 『鎖骨頭蓋骨異形成症患者由来細胞を用いた疾患特異的 iPSC 細胞の樹立』 (ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 19 日

場所: 横浜

Li Hao, Kivokazu Kawada, Haruka Ohashi, Takashi Kamijo, Undarmaa Jamsran

第 126 回日本森林学会

演題: 『モンゴルテレルジ国立公園におけるシベリアカラマツと温帯草原の移行帯におけるその年齢構造』 (ポスター発表)

日時: 2015 年 3 月 27 日

場所: 北海道大学

松本麻子・杉山沙織・川田清和・津村義彦

第126回日本森林学会

演題：『チュニジアに分布する *Quercus* 4種の遺伝的特徴』
(ポスター発表)

日時：2015年3月27日

場所：北海道大学

Kiyokazu Kawada, Narangerel Batamgalan, Diimaa Sangi, Undarmaa Jamsran

The 2nd Morocco-Japan Symposium

演題：『A study on the quantification of sheep grazing pressure in Mongolia』(口頭発表)

日時：2015年3月3日

場所：IAV Hassan II, Rabat, Morocco

Shinozaki, T., Goto, K., Fujino, S., Sugawara, D., Chiba, T.

the 4th International Tsunami Field Symposium

演題：『Erosion of paleo-tsunami record by the 2011 Tohoku-oki tsunami』(口頭発表)

日時：2015年3月23日

場所：Phuket, Thailand

Chiba, T., Fujino, S., Kobori, E.

the 4th International Tsunami Field Symposium

演題：『Reconstruction of co-seismic and inter-seismic movements due to the past Nankai earthquakes in Tokushima Prefecture, Japan, during the late Holocene.』(ポスター発表)

日時：2015年3月23日

場所：Phuket, Thailand

Yamada, M., Fujino, S., Goto, K.

the 4th International Tsunami Field Symposium

演題：『New insights of the sedimentological relationship between tsunami boulders and layered tsunami deposits..』(口頭発表)

日時：2015年3月23日

場所：Phuket, Thailand

横井智之・渡辺守

第62回日本生態学会鹿児島大会

演題：『単独性ハナバチのメスにおける越冬集団形成の適応的意義』(ポスター発表)

日時：2015年3月18日～22日

場所：鹿児島大学

鈴木瑞穂・横井智之・渡辺守

第62回日本生態学会鹿児島大会

演題：『訪花したハナアブのためらい行動に捕食者の存在が与える効果』(ポスター発表)

日時：2015年3月18日～22日

場所：鹿児島大学

有藤惇・得田奈央子・横井智之・渡辺守

第62回日本生態学会鹿児島大会

演題：『外来種ムラサキツメクサに訪花するハナバチ類の採餌行動』(ポスター発表)

日時：2015年3月18日～22日

場所：鹿児島大学

Katsuki, M., Okada, Y., Yokoi, T., Okada, K.

第62回日本生態学会鹿児島大会

演題：『Allometry and sexual dimorphism in legs of *Sagra femorata*』

(ポスター発表)

日時：2015年3月18日～22日

場所：鹿児島大学

横井智之

第59回日本応用動物昆虫学会山形大会

演題：『ニホンミツバチによるレタスカじり行動の実態と季節性』
(口頭発表)

日時：2015年3月26日～28日

場所：山形大学

有藤惇・得田奈央子・渡辺守・横井智之

第59回日本応用動物昆虫学会山形大会

演題：『外来種ムラサキツメクサに訪花する在来マルハナバチ類の採餌行動』(ポスター発表)

日時：2015年3月26日～28日

場所：山形大学

Kanbe H., Asano A.

KU-UT Student Symposium 2014

演題：『Presence of membrane microdomains and its changes following by cryopreservation in chicken sperm.』(ポスター発表)

日時：2015年2月24日

場所：Kasetsart University, Thailand

浅野敦之、Travis A.J.

第119回日本畜産学会大会

演題：『マウス精巣上体における膜ラフトの局在特性』(口頭発表)

日時：2015年3月27日～29日

場所：宇都宮大学

牛山愛、神戸瞳、田島淳史、石川尚人、浅野敦之

第119回日本畜産学会大会

演題：『鶏凍結融解精子における細胞膜変化の意義』(口頭発表)

日時：2015年3月27日～29日

場所：宇都宮大学

篠崎良仁、小嶋美紀子、榊原均、岡部佳宏、江面浩、有泉亨

日本育種学会第127回講演会

演題：『植物ホルモンエチレンはトマトの着果を抑制する』
(ポスター発表)

日時：2015年3月21日～22日

場所：玉川大学

武井瞳、篠崎良仁、江面浩、有泉亨

日本育種学会第127回講演会

演題：『SNP解析を用いたトマト新規単為結果候補遺伝子の特
定』(ポスター発表)

日時：2015年3月21日～22日

場所：玉川大学

若月泰孝

The fourth International Symposium on Data Assimilation

演題：『Numerical prediction experiment of cumulus convection by
upstream lower-level humidification』(ポスター発表)

日時：2015年3月2日

場所：独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構 (神戸市中央区)

T. Aoyama, Y. Wakazuki

International workshop on deposition and deposition modeling for nuclear accident releases

演題：『An optimization approach for deposition ratios』, International workshop on deposition and deposition modeling for nuclear accident releases』 (ポスター発表)

日時：2015年3月2日

場所：福島大学環境放射能研究所 (福島県福島市金谷川1)

青山智夫, **若月泰孝**

第16回環境放射能研究会

演題：『 $^{134}\text{Cs}/^{137}\text{Cs}$ の環境中のガンマ線束強度計算』 (ポスター発表)

日時：2015年3月9日

場所：大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 (茨城県つくば市)

若月泰孝

第59回水工学講演会

演題：『上流下層加湿による積雲対流の予測実験』 (口頭発表)

日時：2015年3月12日

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス (東京都新宿区)

新里高行, 村上久, 三具和希, 都丸武宜, 西山雄大, 園田耕平, 郡司ペギオ幸夫

第62回日本生態学会

演題：『実験的・理論的見地からみる評価の二重性をともなう群れ』 (口頭発表)

日時：2015年3月20日

場所：鹿児島大学

石賀康博・一瀬勇規・澤田貴博

日本植物病理学会創立100周年記念大会

演題：『*Pseudomonas syringae* pv. *tomato* DC3000 の酸化ストレス応答性転写因子 OxyR は本菌の病原性に貢献する』 (口頭発表)

日時：2015年3月30日

場所：明治大学

町田宏太・岡根泉・阿部淳一・**石賀康博**・細矢剛・山岡裕一
日本植物病理学会創立100周年記念大会

演題：『日本産 *Hymenoscyphus fraxineus* のヤチダモに対する病原性』 (口頭発表)

日時：2015年3月30日

場所：明治大学

川崎真弘

1st neuroeconomics workshop

演題：『コミュニケーションする脳波リズム』 <招待講演>

日時：2015年2月20日~22日

場所：相模原

明和政子, 鹿子木康弘, **川崎真弘**, 山本絵里子, 田中友香理, 開一夫, 乾敏郎

日本発達心理学会 第26回大会

演題：『インタラクティブ発達研究の新たな地平』 (口頭発表)

日時：2015年3月20日~22日

場所：東京大学

工藤真生・**川崎真弘**

日本発達心理学会 第26回大会

演題：『定型発達大学生のピクトグラムの理解に関する脳波リズム』 (ポスター発表)

日時：2015年3月20日~22日

場所：東京大学

工藤真生・**川崎真弘**

日本発達心理学会 第26回大会

演題：『コミュニケーション時の行動リズム同期と脳波リズム同期』 (口頭発表)

日時：2015年3月20日~22日

場所：東京大学

Masahiro Kawasaki, Hidetsugu Komeda, Toshiya Murai, Yasuko Funabiki
Cognitive Neuroscience Society 2015

演題：『Mental rotation for ASD and Perspective taking for TD in imitation Neuroscience 2014 at Society for Neuroscience』 (ポスター発表)

日時：2015年3月28日~4月1日

場所：San Francisco, USA

伊敷吾郎

日本物理学会 第70回年次大会

演題：『Matrix Geometry and Coherent States』 (口頭発表)

日時：2015年3月21日

場所：早稲田大学

伊敷吾郎

ソガン大学におけるセミナー

演題：『Matrix Geometry and Coherent States』 <招待講演>

日時：2015年3月25日

場所：ソガン大学 (韓国)

伊敷吾郎

ソウル大学におけるセミナー

演題：『Matrix Geometry and Coherent States』 <招待講演>

日時：2015年3月26日

場所：ソウル大学 (韓国)

今孝悦・沖 隆宏

平成27年度日本水産学会春季大会

演題：『伊豆半島南部に來遊する死滅回遊魚の生息地選択』 (ポスター発表)

日時：2015年3月27日~31日

場所：東京海洋大学 (東京)

堀之内正博・Prasert Tongnunui・古満啓介・**今孝悦**・中村洋平・加納光樹・山口敦子・岡本 研・佐野光彦

平成27年度日本水産学会春季大会

演題：『タイ国トラン沿岸域に形成された *Halophila ovalis* 海草藻場とその周囲の砂泥地における魚類群集構造の違い』 (ポスター発表)

日時：2015年3月27日~31日

場所：東京海洋大学 (東京)

Khrueniam U., Arimoto T., Yoshikawa T., **Kon K.**, Okamoto Y., Ishikawa S., Phuttharaksa K., Munprasit R., and Amupapboon S.

平成27年度日本水産学会春季大会

演題：『The mean trophic level of set-net catch in Rayong, Thailand, based on stable isotope analysis.』 (ポスター発表)

日時：2015年3月27日~31日

場所：東京海洋大学 (東京)

Okamoto Y., Ishikawa S., Anasco N., Taberna H., Moscoso A., Nillos M., Pahila I., Ogawa Y., Kanzaki M., **Kon K.**, Kishino T., Yoshikawa T., and Ikejima K

平成 27 年度日本水産学会春季大会

演題：『Food Web Structure of Batan Bay, Panay Island, Philippines: A preliminary study using CN stable isotope analysis on fishery products』(ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 27 日～31 日

場所：東京海洋大学 (東京)

鈴木葉津海・**今 孝悦**・山田秀秋

第 62 回日本生態学会大会

演題：『沖縄県石垣島のマングローブ汽水域における底生動物の群集構造と資源利用』(口頭発表)

日時：2015 年 3 月 18 日～22 日

場所：鹿児島大学 (鹿児島)

戸祭森彦・**今 孝悦**

第 62 回日本生態学会大会

演題：『イボニシの餌選好性変化時期とその餌種の個体群動態の関連性』(ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 18 日～22 日

場所：鹿児島大学 (鹿児島)

Khalid N, 小林 功, **Neves, M.A.**, 植村 邦彦, 中嶋 光敏, 鍋谷 浩志
化学工学会第 80 年会

演題：『Preparation of quercetin-loaded O/W emulsions using microchannel Emulsification.』
(要旨集 H302) (口頭発表) (英語)

日時：2015 年 3 月 21 日

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス

山中 洋平, 小林 功, **Neves, M.A.**, 市川 創作, 植村 邦彦, 中嶋 光敏
化学工学会第 80 年会

演題：『食物繊維を用いた交互積層法による短鎖脂肪酸内包 W/O/W エマルジョンの高安定化』
(要旨集 YA104) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 19 日

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス

張 晏如, 小林 功, 和田 芳弘, **Neves, M.A.**, 植村 邦彦, 中嶋 光敏
化学工学会第 80 年会

演題：『食品用単分散エマルジョンを作製可能な金属製貫通孔型マイクロチャネル乳化基板の開発』
(要旨集 XA148) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 19 日

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス

神津 博幸, 小林 功, 王 政, 中嶋 光敏, **Neves, M.A.**, 植村 邦彦, 佐藤 誠吾, 市川 創作

平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『胃消化シミュレーターを用いた油脂含有ゲル状食品からの油滴放出挙動の解析』(要旨集 p.27) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

Tachta Erlangga, 神津博幸, 中嶋光敏, **Neves, M.A.**, 植村邦彦, 佐藤誠吾, 小林 功, 市川創作

平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『食品微粒子胃消化挙動のマイクロギャップ法による微視的観察』(要旨集 p.26) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

山中 洋平, 小林 功, **Neves, M.A.**, 市川 創作, 植村 邦彦, 中嶋 光敏
平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『交互積層法を利用した食品用 W/O/W エマルジョンへの食物繊維の多層被覆』(要旨集 p.10) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

牧下 彩乃, 小林 功, **Neves, M.A.**, 萩原 昌司, 植村 邦彦, 中嶋 光敏
平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『異なる乳化処理を施した植物油の酸化安定性評価』
(要旨集 p.8) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

Shu, G., Wang, Z., **Neves, M.A.**, 小林 功, 中嶋光敏
平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『High-temperature stability of nanoemulsions using polysorbate emulsifiers』(要旨集 p.6) (ポスター発表) (英語)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

Li, R., 小林 功, 張 晏如, **Neves, M.A.**, 植村邦彦, 中嶋光敏
平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『Production of W/O emulsions by stainless-steel microchannel emulsification using stainless-steel chip』
(要旨集 p.5) (ポスター発表) (英語)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

張 晏如, 小林 功, 和田 芳弘, **Neves, M.A.**, 植村邦彦, 中嶋光敏
平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『アルミニウム製マイクロチャネル乳化デバイスを用いた O/W エマルジョンの作製における連続相 pH の影響』
(要旨集 p.4) (ポスター発表)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

Al-Shurafat, A., **Neves, M.A.**, Dalo, M. A., 中嶋光敏
平成 26 年度つくば学生研究交流会

演題：『Green manufacturing of aqueous dispersions of silver nanoparticles via Modified Tollens process: Applying PVP and Tween 80 as stabilizers.』
(要旨集 p.1) (ポスター発表) (英語)

日時：2015 年 3 月 3 日

場所：筑波大学

2. スケジュール

<15 年 4 月>

7 日 (火) 11:30~

テニユアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会
総合研究棟 D 117 会議室

7日(火) 定例会終了後
審査・アドバイザー委員会
総合研究棟D 117会議室

5) その他

<グローバル化に向けて：ブラジルにて大学訪問、
Marcos NEVES 助教 (2015年3月24日) >

Marcos Neves 助教が国際的な連携の合意を成立させる目的をより強化するため、3月7日～23日の間にブラジルに出張。その間、筑波大学とリオグランデ連邦大学(FURG)との学術交流及び協力に関する協定の締結を目指して、Neves 助教が先方大学からの招待に応じて、ビジティングプロフェッサーとして10日間にわたって現地で①「Nanotechnology in Food Science and Technology: Fundamentals and Applications for Functional Foods」における集中講義(24時間に相当する)、②共同研究申請の為、FURGのSchool of Chemistry and Food(EQA)専攻に所属される先生方との共同研究計画に関する打合せと、③FURGの本部棟を訪問され、Danilo Giroldo 副学長とEQAのCarlos Prentice 教授と共に大学間の国際交流協定締結に向けて打合せを行いました。今回の訪問が、2011年2月に行った訪問に続いて、大学間の強力な強化に繋がりました。

***** 詳細情報 *****

<リオグランデ連邦大学方式ウェブページでの記事>

2015年3月23日 NEVES 助教がFURG本部棟への訪問、大学間交流協定に関する打合せに参加。:

[FURG and University of Tsukuba start cooperation process \(ポルトガル語\)](#)

2015年3月16日 NEVES 助教がFURG大学にて集中講義

「Nanotechnology in Food Science and Technology: Fundamentals and Applications for Functional Foods」を開催。:

[FURG invites professor from the University of Tsukuba \(ポルトガル語\)](#)

2011年2月28日 NEVES 助教がFURG大学へ訪問し、大学間交流の締結を目指して打合せを行った。:

[Delegation from the University of Tsukuba visits FURG \(ポルトガル語\)](#)

3. 事務連絡

○ 人事

4月1日より、若手研究者運営調整部会部会長・副部会長が下記の通り交代となりました。

部会長：石川 香
副部会長：川田清和、浅野敦之
書記：王 寧

テニユアトラック普及・定着事業 News Letter vol.39

[平成27年4月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

*当ニュース・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。

連絡先：テニユアトラック支援室